

令和 3 年度彦根市都市再生協議会 議事概要

◆令和 4 年 3 月 16 日（水）に本協議会を開催しました。



◆会議の流れ（委員 11 名の内、欠席 2 名。専門委員 2 名）

- 1 開会挨拶
- 2 彦根市のまちづくりの状況報告
 - ・令和 2 年度施策事業の進捗状況報告について
 - ・彦根駅周辺官民連携まちなか再生推進事業
未来ビジョンの策定について（未来ビジョンたたき案報告・協議）
- 3 閉会挨拶

◆主な意見等

【令和 2 年度施策事業の進捗状況報告について】

- 市街地外での開発の在り方について対策が必要である。これからの施策の展開の仕方について、もう少し違う攻め方を検討する必要がある。
- 空き家対策について権利者・所有者の誘導を含めた踏み込んだ検討を行うべきである。
- 滋賀県としては、年度内に県内 19 市町とともに都市計画の基本方針を策定予定であり、ゆとりある住環境の実現をめざしている。居住誘導区域外では民地売却や都市緑地等の活用方針を打ち出しており、県と市が連携して目指す方向でいくべきである。

【彦根駅周辺官民連携まちなか再生推進事業

未来ビジョンの策定について（未来ビジョンたたき案報告・協議）】

- ウォーカブル「居心地がよく歩きたくなる」まちづくりを目指すための未来ビジョンを令和 3 年度～令和 4 年度の 2 箇年に渡り策定する。
- ビジョンの検討、企画、立案等を行う専門部会、ビジョン案の協議・最終決定を行う彦根市都市再生協議会にて、官民連携のエリアプラットフォームを構築し未来ビジョンを策定する。
- 令和 4 年度も引き続きウォーカブルに向けた事業のより具体内容を掲示していき、併せて全体の開発の件数、居住誘導対象の届出数を記録し計画の対する動向を把握していく。